**健康な生活で医療費の増加を防ぎましょう**

問い合わせ 保険給付課国民健康保険担当 電話 23-6051

会社員などが加入する社会保険や共済組合とは別に、自営業や農業など、勤務先の健康保険に加入していない人の医療を保障する制度が国民健康保険（国保）です。

　国保は、加入している被保険者からの保険税と、国や県の負担金などを財源として、県と県内市町村が運営しています。

**大崎市国保の医療費**

　令和3年度の診療報酬明細書（レセプト）から大崎市国保の医療費を見ると、総額で約104億円でした。（図1）一人当たりの医療費も増加し続けています。（図2）

　医療費の疾患別割合で上位5つの疾患は、肺・大腸・胃がんなどの「新生物（腫瘍）」、高血圧症や狭心症などの「循環器系疾患」、糖尿病や脂質異常症の「内分泌、栄養および代謝疾患」、慢性腎不全や腎炎などの「尿路性器系疾患」、関節リウマチや神経痛などの「筋骨格系および結合組織の疾患」で、合計約63億円でした。また、患者数が多いのは、糖尿病や脂質異常症の「内分泌、栄養および代謝疾患」、高血圧症や狭心症などの「循環器系疾患」、胃炎や十二指腸などの「消化器系疾患」です。（図1）

　規則正しい生活や適度な運動、バランスの良い食事、健康診査を受けることで、健康的な生活を送り、医療費の増加を防ぎましょう。

**生活習慣を見直し、健康な生活を心がけましょう**

　生活習慣病の重症化の予防や医療費の増加を防ぐために、年に一度の健康診査が大切です。

　生活習慣病患者のうち、健康診査未受診者の一人当たりの医療費は、受診者の1・5倍から2倍となっています。（表1）

　人工透析などの診療行為が必要になる患者のうち、生活習慣病である糖尿病が重症化した糖尿病性腎症の人は、約69％となっています。

　厚生労働省「令和3年人口動態統計」において、死因順位の第1位は「悪性新生物（腫瘍）」、第2位は「心疾患」、第3位は「老衰」、第４位は「脳血管疾患」となっています。

　治療が完了した後の生活も重要です。食事や普段の生活習慣を見直し、適度な運動を行い、健康診査や各種がん検診などを受け、疾病の早期発見・早期治療に努めましょう。

**■疾患別の患者数と医療費（図1）**

資料：レセプトデータ(大崎市)

※費用額は1万円未満を四捨五入しています。

分類患者数と医療費

新生物（腫瘍） 　7,133人　19億 541万円

循環器系疾患 13,856人 17億2839万円

内分泌、栄養・代謝疾患 13,931人 9億8686万円

腎尿路性器系疾患 6,808人 9億2616万円

筋骨格系・組合組織の疾患 10,876人 7億5750万円

消化器系疾患 13,120人 7億1756万円

神経系疾患 5,979人 6億9800万円

精神、行動の障害 3,553人 6億4492万円

呼吸器系疾患 8,787人 4億3928万円

損傷、中毒、その他外因の影響 4,665人 3億4246万円

眼、付属器の疾患 7,762人 3億2006万円

感染症 ほか 5,292人 1億9615万円

皮膚・皮下組織の疾患 7,254人 1億6836万円

血液・造血器、免疫機構の障害 3,271人 4億3931万円

その他 24,935人 4億3931万円

総額 104億2989万円

■一人当たりの医療費の平均額（図2）出典：宮城県

■生活習慣病患者一人当たりの医療費（表1）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 疾病 | 健診未受診者 | 健診受診者 |
| 糖尿病 | 755,060円 | 363,845円 |
| 高血圧症 | 654,196円 | 349,759円 |
| 脂質異常症 | 477,417円 | 259,400円 |
| 計 | 623,763円 | 323,004円 |